

共にしあわせ産みだす党 日本共産党 市議団ニュース

第2046号 2023年1月22日

日本共産党 根室市議団
根室市宝林町4-203 Tel.0153-23-6023



児童の意見を取り入れてレイアウトを変更した花咲港小学校の教室。パーティションで区切ったスペース等も設置されている（2022年9月時点）

「根室市の学校教育がめざすところ」など議論 総合教育会議で市長と教育委員が意見交換

波岸教育長が根室市の学校教育がめざす内容を説明しました。根室人の誇りや愛郷心等を学校教育でどのように育むのかを大きな命題に掲げ、学校の使命として、ふるさとキャリア教育やインクルーシブ教育の実現を進めることが重要としています。日常的な授業では、子どもが各自の関心のもと自ら学び、また子ども同士で教え合う等お互いに頼ることの出来る人間関係を築く指導に変えていく必要がある、と言います。この大きな目標に市全体で到達するためには、それぞれの学校や地域で特色ある学校づくりを進めていく必要がある、と話していました。

こうした教育の先行的な実践として、花咲小学校では小規模校の特色を活かして昨年、3・4年生の国語と算数で学習内容を自分で計画して進めることや、教室のレイアウトも自分たちが学習しやすいように話し合っただけで変えてきたこと。また異年齢集団として、上級生が下級生を教える活動を取り入れ、子ども達には学習への主体性や意欲の向上がみられたそうです。

昨年12月21日、根室市の「総合教育会議」が開かれ、市長と教育委員会が地域の教育に関する課題や今後の方向性について協議しました。

その他、総合教育会議では今後の取り組みについても報告がされましたので、そのうち何点かを紹介します。

義務教育学校化をさらに進める

2023年度に海星小中学校が義務教育学校となります。今後は、中学校校舎の大規模改修が必要な厚床小中学校と、中学校の校舎移転を計画している落石小学校・中学校についても義務教育学校への取り組みを進めるとしています。その他の市街地の各校について、まだ方向性は定まっていませんが、決して統廃合を急いで進めるような計画にならないよう十分に注意していく必要があると思います。

放課後教室等では、土曜と夏休みなどの開館時間の前倒しを検討

放課後教室等では土曜日や夏休みの長期休業中の開館時間が、現在は8時30分から（歯舞・花咲港児童教室は12時）です。保護者から開館時間を早めて欲しいと要望があり、市教委は新年度に利用者ニーズ調査を行うとのこととです。ところで放課後教室は登録児童数も多く、また近年は特別な支援の必要な児童も増えていると聞きます。そうした対応も含め今後の人員体制等のあり方についても総合的な検討が必要ではないかと思えます。

（仮称）根室市総合体育館の基本構想を2023年度に着手する方向

老朽化する青少年センターに代わる総合体育館の建設に向け、市はこれまで基金を造成し、整備基本方針を策定してきました。その後は市役所本庁舎や塵芥焼却場の建替えもありストップしていましたが、来年度に市教委は基本構想を策定する考えを示しました。また市民・団体、有識者等による検討組織の市民委員会を設立します。

ただ近年は建設費が高騰しています。地域としてスポーツ振興に資する適切な規模や機能のあり方と建設費や維持管理コストとのバランスをどうとるか難しい判断と思えます。

エゾシカ防除柵で春国岱のハマナスや生態系を保護 春国岱のハマナスは今 ハマナス群落保全プロジェクトのその後

1月15日、春国岱ネイチャーセンターのフィールド講座が開かれ、根室市歴史と自然の資料館の外山学芸員さんの講演を聴講しました。

外山氏はエゾシカによる被害等を受けていた春国岱のハマナス群落について、春国岱ネイチャーセンターや根室ワイズユースの会の協力のもと群落を保護する防除柵を2014年に設置。その後モニタリング調査を続け、ハマナス群落や関連する生態系がどのように変化したのか、防除柵の中と外側とを比較したデータ

を報告されました。設置後8年を経過して防除柵の内側ではハマナスの樹高が回復しており、また観測された植物や虫、鳥の種類も柵の外で差異が確認されたそうです。

外山氏は、エゾシカの個体密度を減らすことがカギだが時間がかかりその間も被害が進むため、柵など部分的にも植物群落を保全することは意味があると思いました。

また環境省の調査ではエゾシカが春国岱のほか落石方面にも往来しているそうです。狩猟できない区域に密集することで、踏み荒らしたり糞尿による影響で高層湿原やアカエゾマツ湿地林に被害が生じているとのことでした。



2023年度の根室市予算編成等に関する要望書を提出

日本共産党 根室市議会議員団・根室市委員会



1月18日、日本共産党根室市議会議員団と根室市委員会は市に対して新年度の予算編成に関する要望書を提出しました。

毎年度実施しているもので、領土問題や産業振興、医療・福祉・介護、教育、防災など多岐にわたる住民要望や地域課題について要請を行いました。

鈴木団長は国は防衛費を大幅に拡大する一方で、社会保障等を削減している。根室市として住民生活をまもる予算編成としていくよう求めました。

石垣市長は、先進自治体の事例も学び、ふるさと応援寄付金をしっかりと活用しながら「選ばれるまちづくり」に取り組みたいと答えていました。